

普及センターだより 2021

We LOVE 農業！！

～高梁の農業の動きを紹介します～



普及指導センターは農業者とともに
地域農業の発展に全力を尽くします。

備中県民局農林水産事業部
備北広域農業普及指導センター

(表紙写真)

農業経営
基礎研修会

リモート
栽培講習会
(トマト)

オンライン
就農相談会

しゃくやく
共進会

ピオーネの芽かき
作業の説明

高粱茶[®]
のPR活動

アスパラガスの
雨よけ実証ハウス
の組み立て

若手を対象とした
栽培講習会
(トマト)

ラジコン草刈機等
省力畦畔管理技術
の紹介

～目次～

- 「鬼退治 桃太郎トマト」で産地を活性化 … P 1
- 「鬼退治 桃太郎トマト」の安定生産を目指して … P 2
- 高糖度で美味しいもも「白皇」の掛け袋はどれがいい？ … P 3
- ピオーネの省力的な加工用栽培に取り組みませんか？ … P 3
- ぶどう泥棒 犯人は小さな忍者「テン」！！ … P 4
- 畦畔管理の省力化を目指して！ … P 5
- スマート農業及び農作業安全研修会を開催 … P 6
- アスパラガス簡易雨よけハウスの実証ほ … P 6
- しゃくやくの産地維持の取組 … P 7
- 和牛子牛の資質向上に取り組んでいます！ … P 7
- 備中町湯野地区 ～新規就農者募集中～ … P 8
- 専門家への相談はありませんか？ … P 8
- 6次化商品 販路拡大中！ … P 9
- 高粱農業士会の活動紹介 … P 10
- 新規就農者確保に向けた情報発信 … P 10
- はじめまして！新規就農者を紹介します！ … P 11
- おめでとうございます！～令和3年度受賞者～ … P 12



「鬼退治 桃太郎トマト」で産地を活性化



普及指導センターでは昨年度から、県内最大の夏秋トマト産地であるびほく産トマトをさらに発展させるための活動を展開しています。

○「びほく 天空の実り® 鬼退治 桃太郎トマト」をPR

びほくトマト部会の桃太郎トマトをPRするため、マーケティング会議を行い、「びほく 天空の実り® 鬼退治 桃太郎トマト」をまずは県内で広く周知することにしました。新型コロナウイルスの影響により対面のPRができない中、主にTVなどのメディアを活用するほか、備中県民局の電光掲示板、JA広報誌、(株)タキイ種苗のSNSや、岡山高島屋で開催された「備中たかはしフェア」で販売PRを行いました。



岡山高島屋でPR

○トマト産地を支える新たな担い手の育成

生産者や関係機関とともに、就農前後の新たな担い手を支援するため各種研修を行っています。非農家から就農を目指す実務研修では、今年度も4名が研修し、新規栽培希望者などを対象としたトマトスクールでは4名が6回の研修を受講しました。

また、栽培経験の少ない新規就農者が若手生産者や優良農家のハウスを見学することで、技術の相互研鑽や若手トマト部会員間の交流が深まりました。



トマトスクール（苗の移植実習）



優良農家のハウス見学



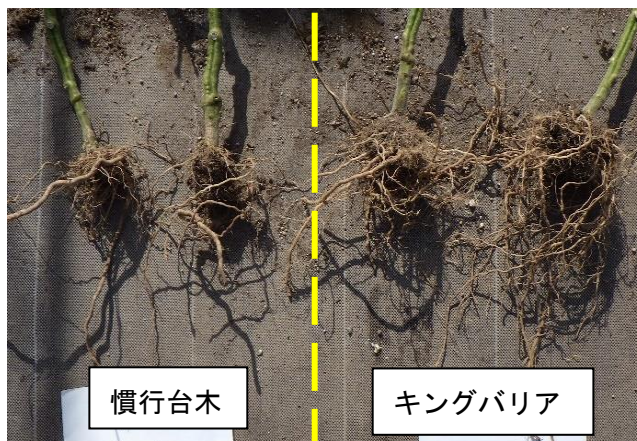
「鬼退治 桃太郎トマト」の安定生産を目指して



○「桃太郎ワンダー」の出荷量向上対策

びほくトマト部会では、秀品率が高い品種「桃太郎ワンダー」の作付けが増加しています。しかし、生理障害である葉先枯れ症状の発生や栽培後半の着果不良が問題となっています。そこで栽培後半の草勢が強い台木の新品種「キングバリア」や硝酸態窒素割合の高い液肥「タンクミックス SA&B」を使用した栽培実証試験を行っています。

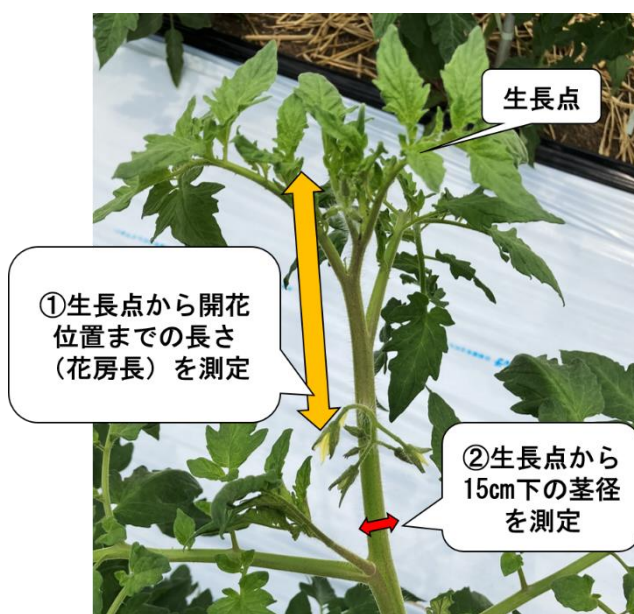
今年度は「キングバリア」台木で生理障害の発生抑制や後半の草勢維持が認められました。



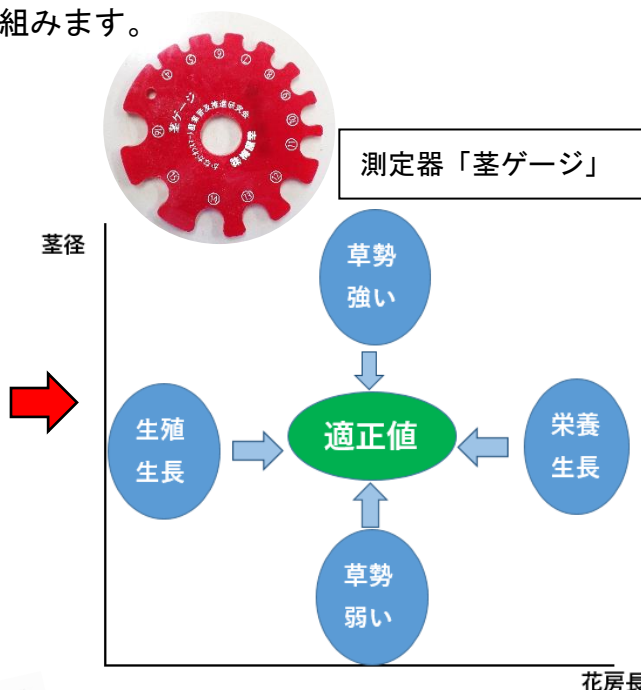
栽培終了後の台木の根量の差

○生育状況の「見える化」で生育をコントロール

トマト栽培においては生育状況を見極めて、「良い草姿にもっていき管理」が重要です。しかし、それには長年の経験が必要となり栽培年数の短い生産者には難しいところです。そこで篤農家のほ場で時期ごとの生育のバランスと草勢の強さを「茎ゲージ」という測定器等を用いて生育調査を行いました。今後調査結果をもとに生育指標モデルの作成に取り組みます。



生育調査の方法



今のトマトの生育バランスはどうだろう？
管理をどう変えていこうかな？



高糖度で美味しいもも「白皇」の掛け袋はどれがいい？



びほく桃部会では、糖度 18 度に達する新品種「白皇」の導入試験をしています。「白皇」の高糖度となる特性は魅力ですが、果皮に裂皮が発生しやすいことがわかってきました。

そこで、裂皮対策に有望と思われる 2 種類の晩生品種用の二重袋を掛けてみました。

今年の結果では、小林製袋の晩生桃専用二重袋底切込袋（T-94 袋）が慣行の晩生用白黒袋より裂皮がやや少なく、果梗脱落による落果の発生も少ない結果となりました。



2 種類の袋で試験

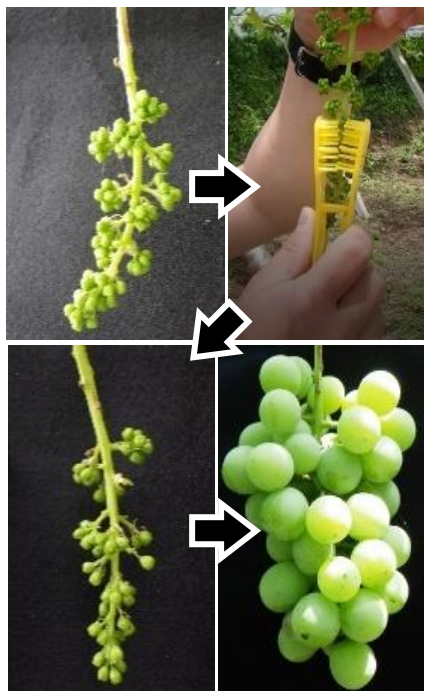


ピオーネの省力的な加工用栽培に取り組みませんか？

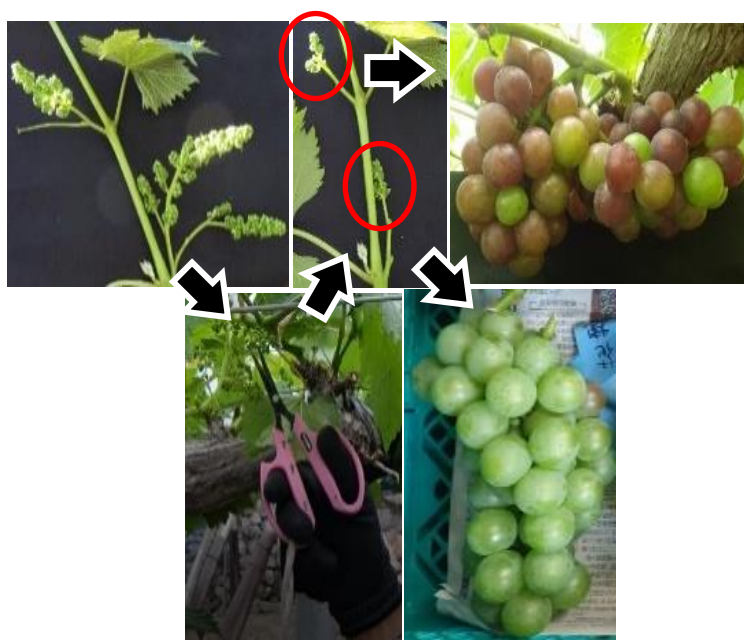


びほくぶどう生産部会では、生産規模の拡大と生産者の高齢化に対応するため、加工用ピオーネの全農との契約栽培に取り組んでいます。

加工用栽培は 8 月上旬に出荷するため栽培期間が短く、袋掛けが不要で、房形や着色、糖度などの出荷基準が緩いことから省力的な栽培が可能です。また、生食用との作業分散や鳥獣害を受けにくいことも大きなメリットです。今年は、さらに省力化を進めるため、「テキライグシ」や「花房上部の枝梗（車）を使った房作り」を試し、省力性と品質等を確認することができました。



テキライグシを用いた房づくりの流れ



花穂上部の支梗（車）を用いた房づくりの流れ



ぶどう泥棒 犯人は小さな忍者「テン」！！



ぶどう農家から、「ぶどうがなにかに食べられている」との声が年々増えてきています。センサーカメラ等で確認すると、中型獣（テン・アナグマ・アライグマ等）が、樹上から加害を繰り返していました。

【令和2年度 テンによるぶどう加害 高梁市川上町】



テンによる食害痕



センサーカメラで確認



ぶどう加害時

普及指導センターでは、令和2年からぶどう園での被害状況や対策を調査し、鳥獣専門家からもアドバイスを受けながら被害対策を試みました。

その結果、テン被害を抑えている農家は、複合柵（物理柵＋電気柵）を設置していました。そこで、モデル園に複合柵を設置したところ、収穫終了時まで被害を抑えることができました。

<設置事例の紹介>



物理柵（ワイヤーメッシュ）

- ・太さ5mm、10cm角を使用
- ・鉄筋支柱は、メッシュの両端に加え、中央部に1本

電気柵 2段張り

- ・地上から40cmと60cmに設置
- ・絶縁碍子を鉄筋支柱に固定

防獣ネット（16mm目合）設置

- ・中小動物侵入防止
- ・結束線や結束バンド等で固定

【その他】

- ・今回のモデル園での設置費用（物理柵・防獣ネット）は1mに約850円かかり、別途電柵本体が必要となりました。
- ・テンに加え、イノシシやアナグマ、アライグマ等にも効果がありました。



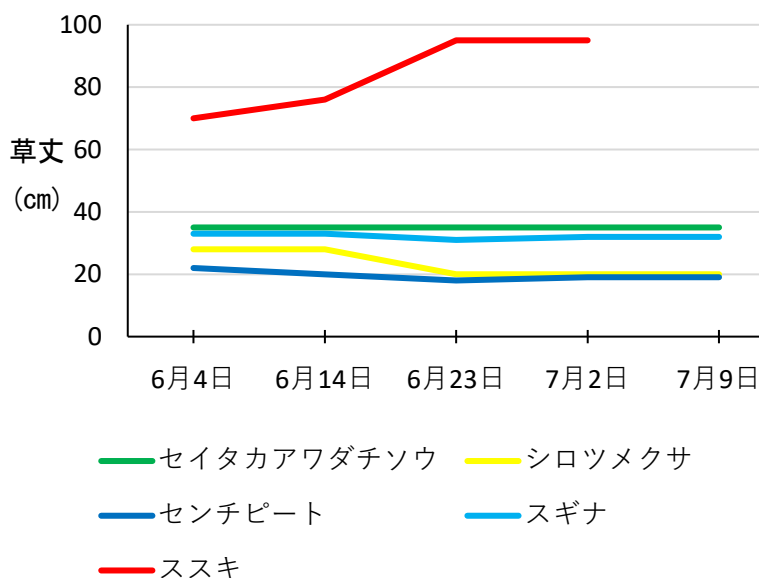
畦畔管理の省力化を目指して！



高梁市内の集落営農組織では、オペレータが減少かつ高齢化が進む中、夏場の畦畔管理の負担が大きくなっています。そこで、畦畔雑草を省力的に管理するため、抑草剤（雑草の生育を抑える薬剤）とラジコン草刈機の活用に取り組みました。

抑草剤は5月上旬の草刈り後、5月下旬に「グラスショット液剤」を散布しました。その結果、シロツメクサ、スギナ等が散布40日後も草丈は変わらず、枯死したものもあり、草刈り作業回数が削減されることから、高い評価が得られました。

また、ラジコン草刈機について総社市の営農組合による実演研修会を開催し、作業時間や作業者の運動強度を刈り払い機と比較したところ、導入経費の課題はありますが、ラジコン草刈機が非常に省力的であることがわかりました。



抑草剤散布40日後の畦畔



抑草剤未散布40日後の畦畔

抑草剤の効果

10a 当たりの草刈作業時間

刈り払い機	4時間40分17秒
ラジコン草刈機	42分18秒

運動強度

刈り払い機	40.6%
ラジコン草刈機	21.5%

※運動強度とは

心拍数等から求める数値で、比率が高いほど作業負担が大きい。



ラジコン草刈機による畦畔除草



スマート農業及び農作業安全研修会を開催



近年、作業の省力化や農産物の収量、品質の向上を目的に、スマート農機の導入が推進されています。中山間地域に適合する農機は絞られますが、徐々に導入は進みつつあります。

11月26日にJA晴れの国岡山びほく統括本部広域営農経済センターで開催した研修会では、水稻栽培におけるスマート農機体系と高梁市の経営体に今年度導入された食味収量コンバインを紹介しました。食味収量コンバインはほ場毎に米の収量やタンパク含量が把握できるため、データから翌年の施肥量を加減して米の品質収量アップが期待できます。



研修会の様子

また農機具の中で事故の多い草刈機の安全使用について講師が説明しました。さらに実際の草刈機を使ったメンテナンスの注意点の説明に参加者からも多くの質問がありました。



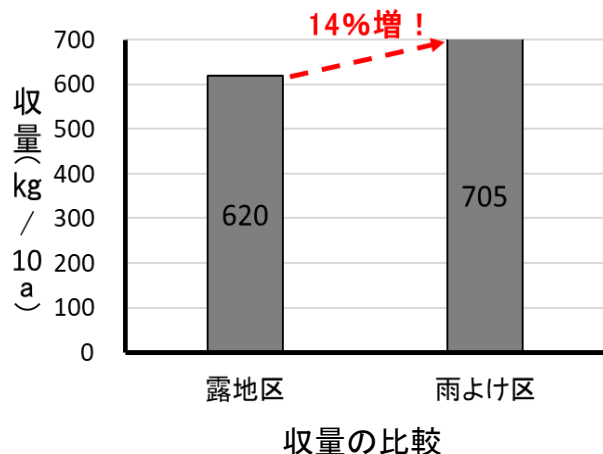
アスパラガス簡易雨よけハウスの実証ほ



びほく地域アスパラガス生産部会では、お盆過ぎから株が早期に枯れ上がる褐斑病が問題となっています。そこで、畝上に簡易な雨よけハウスを設置して、病気の軽減を試みました。その結果、雨よけすることで、10月まで激しい病徴の発生を抑えることができました。また、保温効果もあることから、収穫開始時期が早くなり、年間収量は露地区よりも14%高くなりました。



雨よけハウス





しゃくやくの産地維持の取組



高梁市のしゃくやくは昭和 47 年に導入され、地域特産花きとして定着しています。

びほく花木生産部会では産地の維持発展のため、高齢等を理由に廃作する農家から株の掘上と株分けを行い、新植、増反希望者へ安価に配布する事業を展開しています。

普及指導センターは、栽培意向アンケートによるマッチングの協力や栽培技術指導等を行っています。この取組により株の再利用、再生産ができ、産地の維持につながっています。

しゃくやく
新植・増反募集中

部会員のみなさん、しゃくやくを新規に栽培、増反しませんか。

収穫時期:5月
売上げ目安:5万円/1a

消毒

廃園ほ場から株の掘り上げ

新規栽培者、増反希望者に販売

部会ではしゃくやくの株の再利用、再生産に取り組んでいます。



和牛子牛の資質向上に取り組んでいます！



備中県民局農畜産物生産課では、岡山和牛子牛資質向上対策協議会の地域部会の活動として、JAや高梁家畜保健衛生所と連携し、新規就農者や飼養管理技術の向上を目指す和牛繁殖農家の巡回を行い、市場評価の高い子牛の生産を推進しています。

巡回では、子牛の発育状態の確認や各農家での問題点の改善方法の検討、市場での取引データの提供などを行い、発育の良い子牛の証である「おかやま四ツ☆子牛^{ほし}※」の認定率アップを目指しています。



子牛の発育状態の確認



子牛市場での四ツ☆子牛認定の様子

※「おかやま四ツ☆子牛^{ほし}」とは、市場出荷時の体高・胸囲・腹囲が、認定基準値を満たした子牛を総合判定し、認められたもの。



備中町湯野地区 ～新規就農者募集中～



トマト、ぶどう栽培希望者に朗報!!

★R3に1.2ha4筆の園地造成★

就農希望者の心配事の一つに、「まとまった農地の確保」が挙げられています。

高梁市では、備中町湯野地区に令和2年度から2.6haの園地を造成しており、今年度に1.2haが完了し、トマトやぶどうの入植者を募集しています。

湯野地区では、地元農業者が中心となって地域活性化の一助にと、話し合いを重ね、未利用農地や貸出可能な水田をまとめ今回の農地造成につなげました。



就農希望者にトマト栽培の説明



湯野造成地を就農希望者に紹介



専門家への相談はありませんか？



岡山県農業経営相談所（岡山市の三徳園内に設置）に登録されている専門家に法人化や税務、雇用・労務管理等について無料で相談することができることを、ご存じでしょうか。

認定農業者だけではなく、新規就農者の経営安定に向けた相談も可能で、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士、農業経営アドバイザー等の色々な専門家に相談可能です。

今年度は中小企業診断士や農業経営アドバイザー等の専門家に集落営農法人の組織運営や経営の安定化、一般社団法人の経営課題の解決、酪農経営体の法人化や経理について助言していただきました。

相談を希望される場合は、普及指導センターにご連絡ください。



専門家によるコンサルテーション



6次化商品 販路拡大中！



○高梁茶`（たかはしぢゃ）のブランド力向上を目指して

高梁地域では、古くからお茶が栽培されてきました。普及指導センターは、産地の維持発展に向けて、びほくお茶部会、市、JAと一体となり「お茶のブランド力向上プロジェクトチーム」で、商品開発やPR活動を展開しています。

今年度は、新たに観光客向けパッケージを開発し、市内観光施設で販売を開始しました。また、日本茶インストラクターの西原千織氏のご協力により、PR冊子「高梁のお茶のはなし」を作成し、高梁のお茶の歴史や文化について、より詳しく発信できるようになりました。



猫城主へ高梁茶`を献上



冊子を「備中たかはしフェア」でPR

○高梁のふるさとの味セットがギフトに変身

高梁の味ネットワーク（5グループ）は、高梁地域の農産物を活用した6次産業化に取り組んでおり、各グループの商品を詰め合わせた「ふるさとの味セット」を毎年、夏冬の2回、全国に発送しています。

今年度は、「夏ギフト」にふさわしく、もち麦ビールやゆずシロップ、水出し紅茶などに内容を一新しました。また、外箱にも化粧箱を採用し、装いも新たに生まれ変わりました。

令和3年の夏ギフト



6次産業化に関心がある方は…

食品衛生法の改正により、営業許可、食品表示など、6次化商品を取り巻く環境は大きく変化しています。

研修会の開催など、普及指導センターでは、関係機関と連携して6次産業化を推進しています。まずは、お気軽にご相談ください。



高粱農業士会の活動紹介



高粱農業士会は、県知事に認定された11名の農業士で構成され、新規就農者の確保・育成や青年農業者への指導・助言、地域の農林業の活性化支援等に取り組んでいます。

今年度も活動の一環として、地元の農業や特産物への理解、愛着を小学生に深めてもらうため、備中町富家小学校の3、4年生を11月に牧場に招待し、肉用牛の肥育や繁殖の仕事、「備中牛」ブランド、カメラ



小学生の質問に答える農業士

による分娩監視システムなどについて紹介しました。子供たちからは多種多様な質問が出て、充実した一日となりました。



新規就農者確保に向けた情報発信



新型コロナウイルスの影響で、東京や大阪で開催されていた対面による「就農相談会」の中止が相次ぐ中、就農希望者による情報収集の手段として、インターネットの重要性が増しています。普及指導センターでは、市内に9か所ある就農受入地区の就農情報サイト開設や公式 YouTube チャンネルによる動画配信、Zoom によるオンライン就農相談など、インターネットを活用した就農情報の発信強化に取り組んでいます。

新規就農者の確保が全国的に課題となっている中、引き続きインターネットによる若者に直接届く情報発信により、他地域との差別化を図っていきます。



高粱市内の就農受入地区



高粱地域の就農紹介動画

(<https://www.pref.okayama.jp/site/587/>)



はじめまして！新規就農者を紹介します！



※令和3年1月～12月に就農された方

せのお あきひろ

妹尾 章弘さん（川上町・トマト）



地域の特産である夏秋トマトに興味を持ち、2年前から農家さんを訪問したり、トマトスクールに参加して勉強してきました。まだまだ知識や経験が不足していますが、安定した経営ができるように諸先輩方や普及指導センター、JAからご指導をいただき技術を磨いて頑張ろうと思います。

あんどう たくや

安東 拓哉さん（川上町・トマト）



農業高校と農業大学校で学んでいる頃から、農家になることが夢でした。

農業大学校を卒業して、県の制度を活用して研修に入り、楽しいと感じながらしっかり勉強することができました。

まだ年齢が20代前半なので、あと40年は農作業をすることができると考えています。技術と知識を磨いて、就農して10年前後までには研修の受入農家になることを目標としています。最終目標は、高梁市を代表する農家になって、地域を支えていけるように頑張っていきたいと思います。

うめづ なおゆき

梅津 直幸さん（有漢町・ぶどう）



2019年に有漢町に移住し、2年間の研修を経て今年4月に就農しました。親方や地域の先輩農家のご尽力もあって40aを超える成園で経営を開始させていただき、1年目からまとまった収入が得られたことを大変ありがたく思います。

ぶどうの栽培は大変繊細で興味深く、あっという間に楽しい日々が過ぎていきました。

今年の良かった点・悪かった点をそれぞれ精査し、来年の栽培に活かして毎年少しずつレベルアップして稼げる農家を目指したいと思います。

岡山県では、県の新規就農者支援施策の基礎資料とするため、高梁市と協力して毎年「新規就農者調査」を実施し、高梁市内の新規就農者数を把握しています。

卒業や退職等により65歳未満で新たに就農された方で、年間150日以上農業に従事する方（常勤の雇用契約を締結しておらず、農繁期は農業に専念する方。兼業農家だったが、退職により農業に専念される方も含む。）は、調査対象となる可能性がありますので、普及指導センターか高梁市農林課農業振興係までお知らせください。



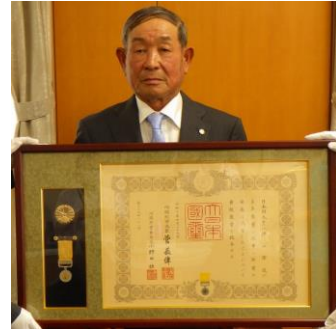
おめでとうございます！～令和3年度受賞者～



☆令和3年春黄綬褒章

○ ^{なかやま}仲山 ^{きよとし}潔俊さん

中山間地における高収益品目として葉たばこやはくさい、トマト等を率先して栽培し、先見性と優れた栽培技術により、トマト栽培を基幹とした園芸複合経営を確立されました。また、畑地かん漑パイプライン事業の誘致に尽力し、上水道との共同利用を提案し、効率的な運用を働きかけ、園芸産地の基盤整備に貢献されました。



トマト栽培においても、高収量、省力化技術を部会内に広め、部会平均単収が向上した他、県下最大のトマト産地の部会長として販売力強化に取り組み、県内のトマト栽培を牽引されました。農業振興に関わる要職を歴任し、新規栽培者の確保や育成など担い手の育成にも貢献されています。

☆第54回岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）

○農産部門 ^{ものべ}物部 ^{てつや}徹也さん

高梁市備中町で「ピオーネ」を主体に「シャインマスカット」と「瀬戸ジャイアンツ」を加えたぶどう栽培に取り組み、雨よけハウス栽培と簡易被覆栽培を組み合わせ、作業分散を図り、家族経営で大規模栽培を実現されました。



また、就農アドバイザーとして、新規就農者の栽培技術や生活面でのサポートを行うとともに、実務研修生を受け入れて就農につなげるなど、新規就農者の確保・育成にも貢献されています。

岡山県主催の共進会で入賞されました

☆第60回岡山県枝肉共進会（第1部 和牛去勢の部）

最優秀賞2席、10席 ^{えぐさ}江草 ^{くにあき}国昭さん

最優秀賞8席 ^{えぐさ}江草 ^{こういち}孝一さん

備中県民局農林水産事業部

備北広域農業普及指導センター

〒716-8585 岡山県高梁市落合町近似 286-1

革新農業推進班 0866-21-2850

担い手農産班 0866-21-2851

園芸班 0866-21-2849

FAX 0866-22-4059

ホームページ <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/107/>

Facebook <https://www.facebook.com/bihokufukyu/>

高梁地域の就農情報 <https://www.pref.okayama.jp/site/587/>

農畜産物生産課

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島 1083

畜産班 086-434-7033

FAX 086-425-4921